

第1回湖西市部活動地域連携・地域移行推進協議会 概要

- 1 日 時 令和5年9月7日（木） 19時00分～20時30分
- 2 場 所 市民活動センター 2階大会議室
- 3 出席者 高村一幸、彦坂昇、齊藤勝、羽生和斉、野末雅彦、近藤さえみ、飯田康仁、鈴木智行、河野智和、落合進、渥美真寿美、馬場博文、渡辺宜宏、鈴木啓二、白井保司、竹中幹晴、黒柳孝江、石田隆、杉浦大千、堀尾光宏
- 4 委嘱状伝達
○委員を代表して、高村委員が教育長より委嘱状を伝達される
- 5 教育長から
○湖西市内の中学生は、令和5年5月1日時点で、1,501名。以前は全ての中学校で全員入部という方針だったが、生徒の意志に任せる学校も出てきている。
○小学校の部活動が、令和2年度をもって終了したので、今年の中学生は、小学校の部活動を経験していない子供たちばかりだが、いまだかつてない54人という生徒が東海・全国大会への切符を獲得したということを実際にうれしく思う。これも、小学校時代に在籍した各少年団や教室、またジュニアスポーツクラブなどの指導のおかげであり、本当に感謝をしている。
○中学校の部活動は、スポーツ庁・文化庁からガイドラインが出され、全国的に改革がされ始めた。令和7年度まで改革推進期間ということで、既に実施している地域もある。
○部活動の地域移行の目的は、大きく分けて二つある。一つ目は、生徒数減少により今後、中学部活動でチームを作れないということ。そのような環境下で生徒が希望する様々な活動を実現させるためには、中学校区の垣根を越えた湖西市での取り組みが必要になってくる。二つ目は、教員の働き方改革を進めていくということ。
○委員それぞれの立場で意見を出し合い、今後の部活動について一緒に考えていきたい。
- 6 役員を選出
○会長に高村一幸（たかむらかずゆき）委員、副会長に飯田康仁（いいだやすよし）委員が選出される。
- 7 概 要
推進協議会は、近年の急速な少子化の進行による今後の中学部活動の在り方と、教員の働き方改革推進のために開催された。第1回は、推進協議会の目的と、これまでの経緯・湖西市の現状について事務局から説明をした。委員は、現状についての見解を共有し、今後の検討に必要な資料等について協議した。
- 8 協議における主な意見
 - (1) これまでの経緯と湖西市の現状について
 - ・外部指導員を任用する場合、人数に制限があるのではないか。
 - (2) 現状把握のために実施するアンケートについて
 - ・地域の実情に合わせた取り組みを進めるうえで、アンケート調査は大変効

果的だと思う。

- ・アンケート内容を確認したが、小学4年生には難しい内容だと思う。より子ども目線で分かりやすいアンケートの方が良いのではないか。
- ・中学校によって部活動数が異なるので、各中学校に対応したアンケートにしてみてもどうか。
- ・そもそも、今の小学生は部活動を知らない。そうすると、まず部活動について説明する必要がある。アンケートを実施する教員の負担を考えると、家庭で保護者と一緒に部活動や地域の取り組みについて話しながらアンケートに回答してもらう方法が良いと思う。
- ・部活動が地域に移行していくのであれば、「部活動」という表現より「競技や活動」といった表現の方が良いのではないか。
- ・このアンケートを学校で実施する場合、教員が部活動の地域移行についてしっかりと把握しておいた方が生徒への指示や質問等へ対応できると思う。
- ・タブレット端末を利用したアンケート回答も可能ではないか。
- ・小学生の発達段階を考慮すると、アンケート内容の精選が必要かと思う。
- ・部活動の活動内容について、より詳しい説明を加えると小学生の子どもやその保護者は安心すると思う。